



第3号

お客様密着系地域型陶芸窯製造業

ガス窯作りのプロ集団・大築窯炉工業

DAICHIKUのお得意様向けニュースレター

ウラモ情報満載

【発行日】2007年1月1日 【発行人】大築窯炉工業 谷口浩司

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2192-5 TEL0296-72-1444【ホームページ】<http://www.daichiku.jp/>

スタッフ紹介

ダイチクの準備の達人にして雑学王～遠藤泰典～



ガス窯の水平を出す作業
レンガ積み前にケーシングやレールを
納入時のために水平にします。

社内では「エン(ド)さん」と呼ばれています。主にレンガ積み作業を担当しています。レンガは一丁一丁積み上げる、まさに「地道な作業」です。積み上げた後もモルタルが付いてしまったレンガや目地の仕上げなどを行います。工場はどうしても誇りっぽくて汚れやすいもの、これをいつもキレイに仕事しやすいように保っているのが遠藤です。

また、準備の達人でもあります。工場で完成したガス窯はお客様に納入されます。この準備は大きさや場所によって微妙に違うので、忘れ物があつたら大変です。これを完璧にこなしています。

趣味はパソコンやラジコン。どちらかと言うと見て楽しむタイプ。特にメモリーのスペックや価格はいつも最新情報をインプット済みです。デジタルカメラで季節の風景や愛猫を写すのも趣味です。写真では航空写真が大好きで、いつも感心しながら眺めています。どんな話題にも対応できる社内きっての雑学王です。

うれしい！楽しい！大好き！ダイチク！

ユーザー登場

ガス窯0.2m³を使用中！陶芸で第二の人生スタート！・原田朋和様



原田朋和さん/埼玉県吉浦町在住

家族で楽しむ陶芸で
充実した第二の人生のスタートを。



定年後の趣味は陶芸で・・・陶芸工房・歩(あゆみ)様

勤務していた会社を60歳で定年退職。ずっと仕事一筋でやってきたので「定年後は何か趣味を...」と考えていました。妻娘が陶芸を趣味にしていたのがやろうと思ったキッカケです。そこで「どうせやるなら飽きの来ない窯で」と酸化も還元も炭化もできる大築窯炉のガス窯に窯元の評判を聞いて決めました。ガスの消費量は思ったより経済的で、窯の扉を開けるときの一番感動します。何度やってもワクワクする瞬間ですね！陶芸を始めてから、どこへ言っても陶器が目につくようになり、「これはどうやって作るのかなあ」と作り手の立場になって見るようになりました。作っている時間はひたすら没頭しているという感じですね。夫婦、家族の共通の話題、趣味、家族で楽しめるのが一番です。夢は、ギャラリーの開設！私たちの作品を多くの人たちに見てもらいたいです。

ガス窯は大丈夫？バーナー掃除でガス代節約

「最近ガス窯の時間が延びたなあ」とお悩みの方、バーナークリーニングでガス代を節約しましょう！ガス代値上げで経費はかさむ一方。汚れたバーナーを掃除するだけで焼成時間が4時間(最新情報)も短くなる場合があります(2m³ガス窯、ボタン使用)。料金はバーナー1本840円(他社製の場合1,050円)こんな時こそ、ちょっとしたことが節約になります。お問合せは今すぐ 0296-72-1444

灰テク穴窯・緋炎で自然釉作品を創りませんか？

灰テク穴窯・緋炎は当社が開発した小型の自然釉作品専用穴窯です。現在はいろいろな理由で穴窯は年に数回も焼けず、自然釉作品は貴重な存在となっています。また販売店で見かけることも少なくなってきました。無いものを創って手ごろな価格で発表することで、お客様の評判も上がることを請け合います。くわしくは <http://www.daichiku.jp/> 資料のご請求は電話で0296-72-1444

大築窯炉の新製品

灰テク穴窯・緋炎～益子よこやま陶芸様にて窯焚き



11月24日～25日の3日間、益子よこやま陶芸様にて「灰テク穴窯・緋炎」の焼成会が行われました。次回は19年1月2日～4日予定です。
お問合せ よこやま陶芸
〒321-4217
栃木県芳賀郡益子町益子3556-3
0120-696-864(ろくろやろーよ)
ホームページ <http://tougei.net/>

窯の中に火が入り数時間たった状態です。いい形ですね～♪

1300度の高温で焼成中！炎の勢いが真近でかんじられる瞬間に出くわしたお客様はビックリ！スゴいんですね・・・(はい、そうなんです。



窯の様子を見ながら燃料を作品に付着させているところ。

こちらは窯元よこやま社長が操作している様子。

緊張の窯出し！

熱電対は今、“貴重品”です！ 材料のプラチナ（白金）が高騰中！

熱電対（ねつでんつい）の価格が高騰しています。もとより熱電対は高価ですが、貴金属の値上がりにより製品価格が直撃されています。保護管部分が欠けた場合には弊社で修理可能ですが、素線が切れた場合には修理ができません。取扱には充分注意してください。もし、保護管が欠けた場合には素線、特に先端部分にはさわらないでください。

ダイチクのウチク 熱電対はサーモカップル(TC)ともいいます。材料のプラチナの融点は1772 度です。

お客様の声&今月の一冊 武内雅之さんからメッセージを頂きました



好評のウサギと月の尺皿



お仕事風景

道具類が整然と並んでいます。武内さんらしい仕事場です。こんな写真を取らせてもらえるのも窯屋の特権です。



今月の一冊！陶工房43号取材記事が掲載されました。緋炎を詳しく解説しています。陶工房は季刊の陶芸専門誌、今回は“信楽陶最前線”書店にて発売中！1680円

今月のお客様の声 / 武内雅之さん

- Q: ダイチクのガス窯はどうですか？
A: (16年間使用して) 金属部分が錆びたので1度修理しました。
先日、16年使った台車の軸受けを交換しました。
Q: どうして弊社のガス窯を選んでくれたのですか？
A: 先代社長を良く知っていました。性能も良いと思って。
Q: もしよろしかったら、お客様を紹介してください！
A: いつも薦めています。

武内さんの連絡先 0296-72-3354
工房：笠間市下市毛1122-13

プロフィール

1946年札幌に生まれる
1971年多摩美術大学大学院卒業
1972年北海道美術協会展朝日新聞社賞受賞
1975年アメリカ陶器研修の為渡米
1979年茨城県展優賞受賞
1980年伝統工芸新作展入選(計4回)
1996年茨城工芸会会員
茨城県芸術祭会員